

地域で学ぶ働く現場 中学生職場体験



▲お気に入りの本を選び、どのようなポップを作成するか真剣に考える生徒たち

醸芳中学校2年生の職場体験が7月7日から9日までの3日間にわたり、町内各所で行われました。町役場には4人の生徒が訪れ、行政の仕事を体験。遊学館よりもよで、自分の気に入っている本を紹介するポップを作成したり、給食センターで食品放射能濃度測定業務を体

験したほか、やすらぎ園での1歳6か月児健診では、野菜を使ったおやつ作りを行いました。生徒らは「最初は緊張したが、職員の皆さんが優しく教えてくれ、楽しみながら学べた。色々な業務を経験できて貴重な体験になった」と、職場体験を振り返りました。

長年の消防団での活躍を称えて 令和8年春の叙勲伝達式



▲（左から）斉藤修消防団長、高橋町長、半澤博元消防団長、今野県北地方振興局長、佐藤浩幸副団長

令和8年春の叙勲で瑞宝単光章を受章した半澤博元桑折町消防団長の叙勲伝達式が7月15日、町役場で行われました。長年消防団に貢献してきた功績を称えて、今野一宏福島県北地方振興局長より勲記および勲章を伝達。高橋町長が「43年間、町の消防活動に多大

な貢献をしていただいた。今後も輝かしい功績を引き継いでいきたい」とあいさつ。半澤さんは「これも先輩たちの良き指導、団員や会社、家族の理解と協力の賜物です。今後も消防団に知識を提供し、協力していきたい」と語りました。

広告

広告